

### 大学入試改革必要ない シールアンケートで受験生と対話

民青同盟県委員会は1月18〜19日に島根大学松江キャンパスで行われたセンター試験会場前でシールアンケートに取組みました。(写真)

民間試験の利用や国語・数学の記述式問題導入をめぐっての「大学入試改革」などについて意見を聞き取りました。

「(改革は)必要ない」にシールを貼った受験生は「二次試験が記述式だから、わざわざ導入する必要はない。センター試験を受けて改めて必要性のなさを感じた」と語りました。受験生からは疑問や不安の声が次々と寄せられ、「必要ない」と答えた受験生の割合は60%を超えました。

松江市の日本共産党城西支部はこのほど、国民健康保険についての学習会を開きました。

松江市の国保の状況や、どうすれば高すぎる国保料が引き下げられるか―などをテーマに学びました。

国保料が高い根本原因について、1983年まで国保収入全体の6割を占めていた国庫支出金が現在2割台に減

松江市の日本共産党城西支部はこのほど、国民健康保険についての学習会を開きました。

松江市の国保の状況や、どうすれば高すぎる国保料が引き下げられるか―などをテーマに学びました。

国保料が高い根本原因について、1983年まで国保収入全体の6割を占めていた国庫支出金

### 国政変えて払える国保料に

#### 党城西支部 国保問題で学習会ひろく

松江市の日本共産党城西支部はこのほど、国民健康保険についての学習会を開きました。

松江市の国保の状況や、どうすれば高すぎる国保料が引き下げられるか―などをテーマに学びました。

国保料が高い根本原因について、1983年まで国保収入全体の6割を占めていた国庫支出金

## 地域の話 アラコ

### 給食費の全額補助を 川西議員が要求

川西議員―町長は「国の無償化政策と連携し、子育て世代を応援し、子どもを産み育ててくなくなる奥出雲町をめざす」としているが、給食費全額補助は実現しているか。

勝田町長―町独自の副食費の実費負担を助成し、保護者負担をなくした。

### 廃プラ減量促進を 伊藤議員が質問

伊藤議員―プラスチックによる海洋汚染が世界的に問題になっている。国内でも来年4月から買入物袋の有料化が始まる。農水省も6月に農業分野での廃プラスチック排出抑制に乗り出し、「生分解性マルチ(土中の微生物によって水と炭酸ガスに分解される材料でつくられた農業用・園芸用マルチ(資材)の利用」を提案の一つに掲げている。一般のポリエチレン製マルチと比較して割高ではあるが、使用した農家の多くから、省力化等のメ

### 塔村教育長―指摘の だが、認識は

川西議員―一部保育所の長時間労働が顕著だが、認識は。塔村教育長―指摘のような一面もある。福祉会任せにせず、町も処遇改善に取り組む。(奥出雲町民報より)

### 少年数学級で懇談 多田・森川両市議

昨年12月、多田伸治、森川佳英の両市議が市内小中学校を訪問し、少年数学級縮小問題で懇談し

### 少人数制で負担は増える懸念

山碕町長―大切な視点なので、雲南圏域での取り組みにしたい。雲南農業振興協議会へ提案し、議論する。(伊藤好晴の議会報告より)

### 少人数制で負担は増える懸念

山碕町長―大切な視点なので、雲南圏域での取り組みにしたい。雲南農業振興協議会へ提案し、議論する。(伊藤好晴の議会報告より)

大平 ところで、弟の勲さんは、プロ野球の張本勲さんのことですよ。僕も小学校から高校までずっと野球をやってまして、張本選手の印象はまさに「伝説の人」、超人級の大打者というイメージでしたよ。

小林 勲はね、努力の人なんです。実は去年ぐらいから言い出したんですが、彼は右手の指がないんです。

小林 4歳の時にとんどの火の中に押し込まれて手を突っ込んで火傷したの。昔はいい病院がなかったからね、治せなかったのね。ただそれを選手にも監督にも誰にもわからないように隠し通して、野球人生をまっとうしたのは本当にすごい努力と信念だったと思う。巨人の川上監督に引退のときにこのことを言うと「お前はこんな手で野球をしてたんか」と言っていてボロボロ泣いてくれたそうよ。弟とは「神戸や大阪に来るときはご飯でも食べよう」とって楽しい話をするんだけど、ある日、電話で話していた時に何を思ったのか「勲、お姉ちゃんは今からの子どもたちが笑顔で平和で暮らせるためにね、核兵器廃絶署名を集めてるんよ」ってなぜか言ったのよ。そうしたら勲が「お姉ちゃん、すごい！アツパレだ！」と誉めてくれたんですよ。

大平 出た！アツパレ！(笑)

小林さん、その署名活動、ものすごくがんばっているそうですね。

署名と世論が力を発揮  
被爆者が世界を動かす

小林 兵庫県の被団協の総会には少し前から参加させてもらうようになって一昨年の5月、署名用紙を1枚もらってコンビニでコピーして、翌日から集め始めたの。署名用紙を持ってどこにでも行って、公園のお母さんたちや全然知らない会社にも訪ねて「仕事にすみ

大平 すごい！小林さんのようながんばりが各地で広がって、この署名は全国で1050万筆を越えました。今春のNPT再検討会議にむけて日本の市民社会の代表団がこの署名が持つていきます。僕もその代表団の一員として参加します。小林さんのお話を聞き、改めて2年半前におこなわれた核兵器禁止条約を採択した国連会議に参加したときのことを思い出しました。この会議でも被爆者の方がその体験と思いを話されたんですが、各国の政府代表がその訴えに真剣に耳を傾け、真摯に受けとめる。胸に手を当てながら口々に被爆者への感謝と敬意を述べながら「私たちは何としても核兵器禁止条約をつくらなければならぬ」と語っていました。その決意は条約の中身にも反映され、HIBAKUSHYA(ヒバクシャ)という言葉が条約の前文に2カ所入っているんです。非人道的な被害をもたらすことを忘れてはならないという趣旨と、もう一つは被爆者をはじめとした市民社会の役割が重要だと述べた点です。本当に被爆者の存在そのものが、そしてそのうったえが世界を動かしているんだと感動しました。

小林 へー！すごい話ね。私一人の署名活動と世界がつながっているのね。(続く)

## 小林愛子 大平喜信

小林愛子(こばやし・あいこ)さん 広島で爆心地から1.5km\*の自宅で被爆。現在81歳。兵庫県加古川市在住。元プロ野球選手の張本勲さんのお姉さん。小学校などでの被爆体験の語り部や「ヒバクシャ国際署名」も先頭にたって奮闘中。

新春対談

小林 兵庫県の被団協の総会には少し前から参加させてもらうようになって一昨年の5月、署名用紙を1枚もらってコンビニでコピーして、翌日から集め始めたの。署名用紙を持ってどこにでも行って、公園のお母さんたちや全然知らない会社にも訪ねて「仕事にすみ